



フクジュソウ '福寿海'

幕末か明治初年に江戸近郊で出来た品種、現在販売されているフクジュソウの大部分は福寿海です。丈夫で育てやすい品種です。「佳月福寿草図譜」より 亮軒記

information  
年末年始営業時間のお知らせ  
12月31日 10:00～18:00  
1月1日～3日 10:00～16:00  
1月4日より 10:00～19:00

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 馨 発行所/名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東橋2-18-13 tel. 052-631-8701  
http://nagoyaangei.co.jp/

21 1

名古屋園芸



小さな春の飾り方



④ スイートピーの早春アレンジ ¥3,500+税



⑤ スイートピー&フラワーベース 1本 ¥150+税 & ¥900+税

## 香りのバースデーフラワー

～スイートピー～



⑥ スイートピーとカスミソウのフレグランスブーケ ¥3,500+税

新たな年を迎え、晴れやかな気分ではじまる1月のおすすめはスイートピーです。  
スイートピーは「Pisum sativum」(香りのよいエンドウ豆)と、名前の示すとおりマメ科の植物です。巻きひげで絡みながら伸びるつる性で、甘い香りと蝶のような可憐な姿に多くの方から人気を集めています。  
和名はジャコウレンソウなどと呼ばれ、春の代表的な芳香花として12月から3月にかけて出回ります。  
原産地は地中海沿岸で、17世紀ごろに発見されました。イギリスを中心としたヨーロッパで品種改良がすすみ、19世紀ごろ日本に渡来したといわれています。今では日本でも品種改良はたいへん盛んに行われています。

花色はピンク、紫、白、赤、青、花びらの根元と先端で色が異なる複色など、非常に豊富な色合いがそろいになりなりました。ほかの花ともよく合い、見栄えもよく、優しい色合いで春らしいフラワーギフトとして楽しめます。  
また、花からはほのかな甘い香りが漂うため、リラククス効果が期待され、ヨーロッパでは寝室などに飾り、ルームフレグランスとして香りを楽しむようです。  
スイートピーの花言葉は「門出」。蝶がはばたく瞬間をとらえたような花の形からつけられた花言葉だといえます。1年が始まる1月生まれの方には、ぴったりの花言葉だといえるでしょう。  
新たな1年のはじまりに誕生日を迎える方には、「門出」の花言葉を持つスイートピーでお祝いしませんか。

## 『大江戸花競べ ～四季のいろどり～』の出版について



令和3年1月4日よりお申込み承ります。

名古屋園芸隠居、小笠原左衛門尉亮軒が半世紀かけて蒐集した江戸時代の資料を基に、江戸時代に花開いた世界に誇る日本の花文化を紹介する渾身の一作です。江戸時代に生きた人々と花、植物との関わりを様々な角度の資料とともに解説しています。

令和元年度第71回日本放送協会「放送文化賞」受賞を機に製作いたしました。非売品のため販売は行いませんが、ご希望の方には一般財団法人 雑花園文庫へ三千円以上のご寄付で一冊贈呈させていただきます。なお、残部わずかのため、先着順にて受付、なくなり次第贈呈を終了させていただきます。つきましては、原則おひとり様一冊に限らせていただきます。



ハナシヨウブ、仕事と趣味を両立させた男

一般財団法人雑花園文庫について  
一般財団法人雑花園文庫  
代表理事 小笠原左衛門尉亮軒  
雑花園文庫は、名古屋園芸の創業者・小笠原左衛門尉亮軒が30年にわたって蒐集した文庫です。江戸時代から近代にいたる園芸を基軸として、本草、博物、植物学、農業、華道、茶道、園芸など歴史と貴重な関連資料を主体としています。加えて江戸中期以降園芸分野で盛んに親しまれた植物番付、新品種を披露する引き札の刷り物、錦絵に表現された園芸や植物、漢籍、洋書ポタニカルアートなどを収集しています。

園芸に基盤を置いた文庫の創設により、園芸文化の向上発展に寄与することを目的として、平成26年に設立いたしました。

## 花の博物館 第300回

日本書紀 三十卷十五册

太朝臣安麻呂奉勅撰 養老年中(717~723)  
清原朝臣國賢 勅本板行 慶長4年(1599)  
寛文9年(1669) 武村市兵衛他刊

### 日本書紀 一



御本云

日本書紀歷代之古史也 元正天皇奉老  
年中一品舍人親王太朝臣安麻呂奉勅撰  
之吾朝撰書也 矣覽以是為權輿者耶君  
臣共以其不窮此書矣按 應神天皇以還  
至 繼體天皇御宇異域曲羅多以錄求朝  
不解其義徒經三百有餘歲矣 推古天皇  
御宇重徳太子察三才之源流三國之起故

お経のように並べてみました。日本の歴代天皇の御名です。私は小学生2、3年のころ当時122代の御名を順に覚えて暗記することが宿題にあり、大変苦手でして、ここに並べた仁徳天皇あたりが限度でした。その他、養老元年(717)の百秋瑞穂之地から始まり天照太神、日本武尊命の話などの出典がこの本にあることを初めて知った。  
従って当書について園芸的要素がいずれにあるやなしや全く承知していませんが、最後巻三十をばらばらと見ていると次の文字が目についた。  
持統天皇7年3月、詔を令して天下に、桑、梨、栗、蕪草草木を以て五穀の助となす、とある。ゆつくり目を通してみることにする。  
\*花の博物館、当号で300号となりました。毎月1回、25年間ご高覧を賜り有り難く厚く御札を申し上げます。何かおボケぬよう400号を目標に書き残したいと願っています。ありがたうございませう。

## information

### 椿コレクション



紅一休

名古屋園芸の東入口にズラリと並ぶ種類豊富なツバキ苗。ご来店のお客様だけでなく、通行の方も足を止めてご覧になれる様子にはスタッフも嬉しくなります。名古屋園芸バイヤーが毎週産地に赴き直接仕入れてきたツバキは、株に極力ストレスをかけることなく輸送されるので大変鮮度の良い状態で店頭と並びます。  
この時期オススメしたいのが「三河ツバキ」と呼ばれる種類のツバキです。従来のツバキは2~3月に開花するのが一般的ですが三河ツバキは12~1月に花を咲かせる早咲きが特徴。早春の時期から一足早くツバキの花を楽しむ事ができます。  
3月末頃まで色々なツバキが続々と入荷いたしますので、気になる方はぜひこまめに足をお運びください。